

議会だより

平成25年
8月1日
発行

第16号



「いつやるか 今でしょ!」

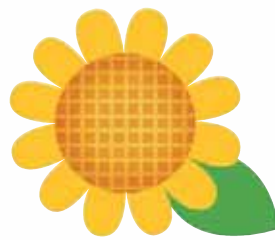


「豊かな心を育てる活動」として、6月27日(木) 神守中に林修先生をお招きし、夢や希望をかなえるために今やるべきことについて講演をしていただきました。

※議会だよりは、3月・6月・9月・12月の年4回の定例会、また、必要に応じて開催される臨時会の内容を中心に編集しており、2月・5月・8月・11月に発行します。

目次

- 議決結果……………2
- 議案に対する賛否一覧……………2
- 議会レポート……………3
- 委員会レポート……………4
- 一般質問……………7
- 第3回定例会の予定……………13
- 議会報告会のお知らせ……………14



8月3日・4日に議会報告会を開催します。詳しくは14ページをご覧ください。

お知らせ

◎平成25年第1回津島市議会臨時会 議決結果

★議案第35号 津島市監査委員の選任……………全員で同意

◎平成25年第2回津島市議会定例会 議決結果

★議案第36号 津島市市税条例の一部改正……………全員で可決

★議案第37号 津島市国民健康保険税賦課徴収条例の一部改正……………全員で可決

★議案第38号 津島市下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正……………多数で可決

★議案第39号 平成25年度津島市一般会計補正予算(第1号)……………全員で可決

★議案第40号 平成25年度津島市流域関連公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)……………全員で可決

★議案第41号 平成25年度津島市民病院事業会計補正予算(第1号)……………全員で可決

★議案第42号 斎場火葬炉設備等整備工事請負契約の締結……………全員で可決

★議案第43号 津島市固定資産評価審査委員会委員の選任……………全員で同意

◎開かれた議会を目指す取り組みとして、議員がどの議案に賛成したか、反対したかを一覧表にして掲載しています。

平成25年第1回臨時会及び第2回定例会【議案に対する賛否一覧】 賛成:○ 反対:×

第1回臨時会		改革クラブ				新市民クラブ			青風会			共産党議員団		新生クラブ		公明党つしま		無党派		無会派		
議案番号	件名	東国伸	津田秀幸	後藤敏夫 議長	日比一昭	加藤則之	日比野郁郎	長尾日出男	加藤哲司	大鹿一八	上野聡久	山田真功	杉山良介	伊藤恵子	垣見信夫	西山良夫	本田雅英	森口達也	宇藤久子	小山高史		
35	津島市監査委員の選任について	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2回定例会		改革クラブ				新市民クラブ			青風会			共産党議員団		新生クラブ		公明党つしま		無党派		無会派		
議案番号	件名	東国伸	津田秀幸	後藤敏夫 議長	日比一昭	加藤則之	日比野郁郎	長尾日出男	加藤哲司	大鹿一八	上野聡久	山田真功	杉山良介	伊藤恵子	垣見信夫	西山良夫	本田雅英	森口達也	宇藤久子	小山高史		
36	津島市市税条例の一部改正について	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
37	津島市国民健康保険税賦課徴収条例の一部改正について	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
38	津島市下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	○	○	○	○	○	○	○
39	平成25年度津島市一般会計補正予算(第1号)について	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
40	平成25年度津島市流域関連公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
41	平成25年度津島市民病院事業会計補正予算(第1号)について	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
42	斎場火葬炉設備等整備工事請負契約の締結について	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
43	津島市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「—」…採決に加わっておりません。



第1回臨時会

5月9日と10日に開催し、議長、副議長、監査委員を始め、常任委員会委員・議会運営委員会委員・特別委員会委員及び海部地区環境事務組合議会議員の選出を行い、新しい役員が決まりました。

市議会新役員（敬称略）

議長 後藤敏夫
副議長 杉山良介
監査委員 大鹿一八

○委員長 ○副委員長
総務協働委員会

○日比一昭 ○上野聡久 杉山良介
東 国伸 宇藤久子 加藤哲司
森口達也

厚生病院委員会

○西山良夫 ○山田真功 伊藤恵子
本田雅英 後藤敏夫 長尾日出男

文教建設委員会

○加藤則之 ○小山高史 津田秀幸
垣見信夫 日比野郁郎 大鹿一八

議会運営委員会

○日比野郁郎 ○加藤則之 東 国伸
伊藤恵子 大鹿一八 本田雅英
西山良夫 小山高史

決算審査特別委員会

○上野聡久 ○森口達也 垣見信夫
伊藤恵子 宇藤久子 日比一昭
加藤則之 加藤哲司 山田真功

海部地区環境事務組合議会議員

杉山良介 津田秀幸

第2回定例会

6月3日から6月24日まで開催し、10日と11日の2日間、13人の議員による一般質問を行いました。

議案7件を可決し、人事案件1件を同意しました。

議案に対する討論

議案第38号

下水道事業受益者負担に関する
条例の一部改正

〈反対討論〉

受益者負担金1㎡当たり4000円は、弥富市はゼロ、あま市・大治町は270円、蟹江町は300円、津島市は、愛西市と同じく一番高い。同じ流域下水道で市町に格差があり不公平。



議案第39号

一般会計補正予算（第1号）

〈賛成討論〉

3ワクチンの定期接種化、風しん予防接種助成の予算が計上され賛成する。しかし、彩雲館の施設検討委員会では、民間移譲ありきではなく、直営も含め福祉施設のあり方を検討すべき。



本予算の庁舎維持管理費は、耐震強度1.5値0.75を確保するため、災害時に市民の生命とデータを守るとともに防災拠点としての役割を果たさなければならず、本庁舎耐震改修工事にかかる予算は必要不可欠である。

急速な高齢化を迎える中で、住み慣れた自宅で継続した医療・介護サービスを安心して受けることができる。よって在宅医療の先進的な取り組みを大いに期待する。



7月からの風しんワクチンの半額助成や来年4月から、神島田保育園でオープンする病児・病後児保育室の工事費・子育て支援計画を策定するニーズ調査委託料など子育て世代のための予算が組まれているため賛成。

議案第42号

斎場火葬炉設備等整備工事請負
契約の締結

〈賛成討論〉

黒煙と異臭の問題が解消され、来年の4月から市民の皆さんが安心して利用できるようしっかりとした工事を希望して賛成。

議案第37号
国民健康保険税賦課徴収条例
の一部改正

Q 国民健康保険から後期高齢者医療に移行した者と同一世帯に属する被保険者の属する世帯における国保税の軽減措置について、整備等を行うとするものである。

A 軽減される世帯数と国保税収入が減った分の補填はいかがか。

Q 平成25年度見込みで、約750世帯が軽減される。保険基盤安定交付金として、県から約1億2800万円が補填される。



議案第39号
一般会計補正予算(第1号)

Q 彩雲館費の報償費として23万5000円計上されているが、その内容は。

A 彩雲館の民間移譲に伴う検討委員会を委員7人で5回開催するもので、

本年9月までには譲渡先を決定したい。

Q 在宅医療連携拠点事業として1727万円計上されているが、その中でタブレット端末を配備するということが、どのような職種の方に配備するのか。

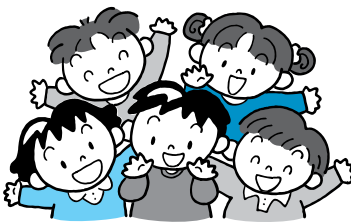
A 訪問診療する医師を始め、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネージャー、ヘルパーの多職種でモデルチームを2チーム作り12台のタブレット端末を利用して、情報の共有化を図り、サービス提供の連携をとっていく。



▲タブレット端末

Q 子ども・子育て支援事業計画策定支援業務委託料として357万2000円計上されており、新制度に向けての計画策定ということだが、新制度の特徴は。

A 質の高い幼児期の学校教育、保育の総合的な提供・確保が特徴。

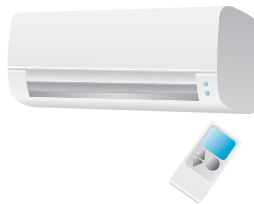


Q 保険事業システム設置委託料として28万3000円計上されているが、その内容は。

A 国民健康保険ネットワークの拡張により国保担当課以外の部署でもデータの抽出ができるシステムを設置し、地域ごとや年齢ごとの健康課題を把握、分析することにより、それぞれの保険事業の計画を策定することができるようになる。

Q 工事請負費として4590万円計上されているが、その内容は。

A 看護専門学校の老朽化した空調設備を改修するもの。ツイン式2台を始め、全体で24台入れ替えるもの。



議案第41号
市民病院事業会計補正予算(第1号)

Q 在宅支援事業受託料として、1456万2000円計上されているが、その内容は。

A 高齢介護課の実施する在宅医療の支援病床5床を、市民病院に確保するための受託経費として計上したもの。

入院日数としては、2週間を目安にする。

在宅医療の継続性を支援する事業であり、市として地域包括ケアの中で在宅医療が重要であり、市民病院はそれに対して重要な役割がある。

在宅医療とは？

慢性的な病気や、病気の後遺症、末期がんなどを患っている方など、通院することが難しい方が、自宅で生活しながら医師や看護師の訪問により医療を受けることです。



陳情第1号 公務・公共サービスの充実を求める陳情

賛成者少数で不採択

文教建設委員会レポート

議案第38号
下水道事業受益者負担に関する
条例の一部改正

Q 平成26年度に供用を開始する新開北処理分区に含まれる町名は。

A 大きく分けて2つの区域である。北側の区域は、藤浪町、昭和町、兼平町、藤里町、西柳原町、柳原町、東柳原町、埋田町、立込町。南側の区域は、西愛宕町、愛宕町、橘町となる。

Q 1㎡あたり4000円の受益者負担金の積算根拠は。

A 事業認可を受けた神守、唐臼南処理分区の末端管渠整備費を計算し、その約22%の金額である。

Q 他の市町村では受益者負担金に上限を設けているが、当市では上限設定を考えているのか。

A 上限設定は設けていない。

Q 一括納付するメリットはあるか。

A 納付方法は、1年4期、5年で20回納める方法であるが、初年度の1期に全額納付すると17%の報奨金を受けら

れる制度を設けている。

Q 市街化区域内の農地は、受益者負担金の猶予はないのか。

A 農地についてもすべて賦課するが、生産緑地および係争中の土地については、申請により猶予を受けることができる。

議案第39号
一般会計補正予算(第1号)

Q JCC愛知ブロック大会が当市で開催されるとの事で、補助金として54万2000円計上されているが、事業内容及び大会の総事業費について説明を。

A 大会の会場は文化会館、生涯学習センター及び天王川公園の3か所である。

文化会館では大会式典と一般参加者を集め、健全な青少年育成に関するフォーラムが開催される。生涯学習センターでは青年会議所メンバーを集め、各種委員会及びセミナーが開催され、天王川公園では、料理や踊り等で津島の魅力を表現することや、職人による原寸大のまきわら船の製作など、海部津島の魅力の発信と地域活性化を図るイベントが予定されており、大会の総事業費は1249万円余である。

Q 海部津島の市町村の中で、津島市

だけが補助金を支出している理由は。

A 大会会場が津島市であり、文化会館や生涯学習センターを利用するためその会場費に相当する経費を補助するものである。

Q 津島総合案内所事業補助金として、100万円計上されているが内訳は。

A 営業時間の2時間延長に対するパト賃金で50万円、新製品の新規開発事業費として50万円である。

Q 新共同調理場建設工事監理業務委託料として876万円計上されているが、委託業者の選定はどのように行うのか。

A 実施設計を工事現場に適切に反映させるために、実施設計を受託した業者との随意契約を考えている。

Q 新共同調理場は26年度も工事が続くが、継続費として計上しているのか。

A 契約については、2倍の1753万円余を予算計上している。

Q 新共同調理場の設備はオール電化で、停電したら災害にも対応できないが、



全て火を使わないIHで行うのか。

A 計画通り、IHで行う。

議案第42号
斎場火葬炉設備等整備工事請負
契約の締結

Q (株)宮本工業所と契約するとあるが、津島市の斎場と同程度の規模でこの会社が施工した現場への視察は行ったか。

A 刈谷市の火葬場を視察したが、臭いも煙もなく、現地の職員に話を聞いたところ、黒煙・異臭の問題での苦情は年間を通してないとの事であった。

Q 火葬炉が3つから2つになることで、火葬の希望時間が重なった場合に対応できない可能性があるのでは。

A 市の1日当たりの火葬件数は、平均で197件であり、1日4件未満の場合が全体の95%を占めている。過去には火葬の希望時間が重なり、他の自治体での火葬となったこともあったが、問題はなかったので十分に対応できると考えている。

陳情第2号 働く者の権利を
守り、憲法擁護・核兵器のない
世界を求める陳情

賛成者なく不採択

議案第36号
市税条例の一部改正

Q 所得税の住宅ローン控除に対する予算措置は、全額、交付税に算入されるか。

A 全額、地方特例交付金という形で算入される。

議案第39号
一般会計補正予算(第一号)

Q 庁舎耐震改修工事として、平成25年度5983万円余、平成26年度が3億3905万円余継続費として計上されているが、その算出根拠は。

A 事業の進捗状況を、平成25年度は15%と見込み、平成26年度においては、残りの85%といつことと算出している。

Q 庁舎耐震改修工事監理業務委託料が今年度は134万円余計上されているが、来年度はいくらか。

A 平成26年度は759万円余、総額で893万円余である。

Q 施工業者はどのように選定するか。

A 制限付き一般競争入札を考えている。

Q 庁舎の耐震改修は、当初、総額で1億6500万円であったが、今回3億9000万円程と約2.4倍の予算が計上されているが、その理由は。

A 当初の数字は、基本調査時における庁舎の耐震補強工事としてアウトプリームと耐震補強の基礎的なものだけを試算したものである。詳細な調査を実施したところ、当初想定されていた工事等を含めたことにより、改修費用が増額となった。



Q コミュニティセンター耐震診断業務委託料として334万円余計上されているが、その診断業務委託料の内訳は。

A 高台寺コミュニティセンターが、147万円余、神島田コミュニティセンターが、187万円余である。

Q 耐震診断はいつ頃までに終える予定か。

A 今年度中を予定している。

Q 戸籍副本データ管理システム導入業務委託料として、177万円余計上されているが、データ送信先はどこか。

A 名古屋法務局管内は、北海道内と聞いている。

Q 副本データを全国2か所にわけて保管するということであるが、全額一般財源で国からの補助等はないのか。

A 法務省からは、国からの交付税等はないと聞いているが、戸籍業務は国の仕事であり、県市長会を通じて要望書を提出している。

戸籍副本データ管理システムとは？

災害時に市役所の戸籍データが失われてしまうことを防ぐため、戸籍の副本データを市役所から離れた場所で保管するものです。

名古屋法務局管内の戸籍副本データは、北海道にある戸籍副本データ管理センターで保存されます。

これにより、万一、震災等で市役所の戸籍正本データがなくなっても、戸籍副本データ管理センターに保存したデータで、復元することが出来ます。

Q 消防庁舎耐震診断業務委託料については、防災拠点としての機能を確保するため、耐震診断を実施するのか。

A 新基準の1s値0.6以上ではあるが、災害拠点とするためには、1.5倍の1s値0.9以上が必要であるため、実施するものである。

Q 新たな南海トラフ巨大地震の県の被害想定は、津島市の場合は震度6強であるが、耐震改修すれば消防庁舎は、これに対応できると考えていいか。

A 震度6強に対応できる。

Q 消防署には、消防車輛など約4億9000万円の資産が置いてあり、浸水リスクを想定し、有事の時は海抜プラス3メートルの防災道路への消防車両の移動を前向きに検討してはどうか。

A 考えていきたい。

陳情第3号 働く者の権利を守り、公務・公共サービスの充実・憲法擁護・核兵器のない世界を求める陳情

賛成者少数で不採択

一般質問

公明党つしま 森口 達也

障がい者支援事業に関する件

質問

福井県坂井市は、雇用ネットワークセンターを設置し、適材適所に人を企業へ紹介し、就労者数を倍以上に伸ばすことができた。当市も実施するように提案したいと思うが見解は。

健康福祉部長

市として本人、家族、ハローワーク、企業、事業所とのネットワークの形成に向けて支援する。最終的には障がい者雇用ネットワークセンター同様の機能が果たせるものと考えている。

地域福祉に関する件

質問

最近、ごみ屋敷問題、認知症による親の徘徊等の問題がふえている。現状を踏まえて、地区社協とコミュニティソーシャルワーカーの連携は必要不可欠だと思いが、今後の取り組みは。

健康福祉部長

現在、市においては独自の取り組みとして、各小学校区のコミュニティ、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、そして各団体、地域住民の方々とともに地域で支え合うネットワークづくりを

進めている。

文化遺産に関する件

質問

文化財建造物等を活用した地域活性化事業として平成25年度政府予算案に基づき募集されているが、当局の見解と取り組みは。

教育長

本市は伝統芸能や文化遺産が満ち溢れており、体験教室で学んだ子供たちが将来地元で活動するさまざまな文化団体や文化遺産を保存する団体など、中心の人材として育ていくよう国の補助制度を活用しながら今後も取り組んでいく。

国民健康保険事業に関する件

質問

高額療養費について、入院説明時に患者・家族が申請書に記入し、保険年金課の窓口へ足を運び、限度額認定証を受け取り病院へ提出する手間が大変なので、手続きの簡素化を図って欲しい。

健康福祉部長

取り扱い等については市民病院と協議し、実施に向けて前向きに検討する。

市民病院事務局長

取次については、早期に行いたい。そのほか市民病院に申請書類を配備して対応する。

公明党つしま 本田 雅英

市民病院事業に関して

質問

改革プラン後の市民病院像は。

市民病院事務局長

改革プランは、あくまで通過点である。病院の自主性・自立性・柔軟性、継続的な健全運営が不可欠と考える。この様な視点から、今年度中に病院職員が主体性を持って「将来ビジョン」、「基本理念」を策定する。

質問

一般会計からの繰入金金は、他の病院と比較してどの様な状況か。

市民病院事務局長

損益勘定分では、県内公立病院19病院中15番目である。経営努力により、繰入金を可能な限り減少させる。

質問

平成24年度の決算状況は。

市民病院事務局長

給与費増加に対し収益の伸び幅が少なかったため、前年比約2億円の改善に留まった。新入院患者を増加させる。

質問

4月、5月の収支状況の分析は。

市民病院事務局長

新入院患者の伸び悩み、平均在院日数の長期化等が原因で、入院単価が低かった。収益等は、前年同時期と比較し大きく伸びたが、平成25年度予算値の9割程度である。年度当初であり、十分取り戻せる。

在宅医療連携拠点事業に関して

質問

在宅医療について、市の考えは。

市長

在宅医療の課題は、長く先送りされてきた。25年後の看取りを考えると、各自治体が課題として捉える必要がある。市は、平成24年度の厚生労働省のモデル事業に応募し、積極的に取り組んできた。この取り組みを、日本老年医学会学術集会で発表したところ高い評価をいただいた。高齢者のみならず、小児も含め、在宅医療を推進していく。

質問

登録医師の判断で入院できる病床を確保する事業はどのようにして必要か。

健康福祉部長

在宅診療を行っている医師にアンケートを行った。訪問診療を行う医師不足の課題が鮮明になり、迅速に入院できる体制づくりや支援病床の確保が必要であると認識した。



一般質問

青風会 上野 聡久

自主財源確保の取り組みについて

質問

自動販売機の設置について、競争入札を導入し、歳入増を実現する自治体が増え、ここ3、4年で県から市町村レベルに取り組みが広がってきている。

市でも、一層の財源確保の観点から取り入れてはどうか。

総務部長

公共性と自主財源の確保という観点から、入札制度も含め検討をしています。

21世紀ナンバーワン

質問

ご当地ナンバーの導入によって新聞や雑誌などに市が紹介されたり、ナンバーが動く広告塔となり地域振興、観光振興に役立つのでは。

総務部長

ご当地ナンバーは、市のPRや愛着心を育み、地域振興などに役立つと考えるが、交通安全や防犯上の問題解決の一端も担っている面もある。今後、近隣市で得られた効果や動向を注視していく。

市民病院について

質問

近年、おいしい病院食を提供しようと力をいれる病院もできた。食べることは重大な治療行為の一つ。温かくおいしい食事は患者の生活の質を向上させ回復に要する時間も短くなる。今後の対応は。

市民病院事務局長

入院中であっても季節感や食べる喜びを感じられる病院食をめざし、新しい患者給食業務をスタートしていく。

質問

市民病院は随意契約が多いのではないか。入札をし、サービス面や価格面でも競い合うべきでは。

市民病院事務局長

確かに随意契約は多いと感じる。今後は、経費削減やサービス向上の観点からも入札や提案型の公募方式を考えていく。



改革クラブ 日比 一昭

風しん予防接種はPR活動に工夫を

質問

風しん患者は、昨年の後半から急増し、特に妊娠初期に風しんに感染すると、胎児までが感染し、先天性風しん症候群児が出生することがあり問題。名古屋市では、風しんの予防接種に対する費用を全額補助するが市の対応は。また、対象者数見込みが902名に対し、接種者数見込みが325名と約1/3の目標は設定が低くないか。

健康福祉部長

助成額は、一人当たり5000円、助成対象は、平成25年7月1日から平成26年3月31日までの接種で一人一回のみの助成とする。接種者見込みは愛知県内の事業概要及び予算要求を参考にした。接種希望者が多く予算額が懸念される場合、補正予算を計上したい。

質問

今回妊娠予定の女性の配偶者に対して、どのようにPR活動の工夫をするのか。

健康福祉部長

広報紙等の周知では情報が届きにくいので、生涯学習センターの市政情報コーナーや関係機関及び民間の商業施設にも協力を呼びかけ、啓発したい。

回遊できるまちづくりの実現を

質問

渡邊家住宅の保存修理が完成し、公開されるならば、本町筋周辺の歴史ふれあい軸に新たな津島の歴史文化の魅力を発信する拠点が生まれ、点から線への魅力が一步前進する。この機会をチャンスと捉え、さらに力強く市も回遊するまちづくりを積極的に推進するべきではないか。

市長

地域の皆さんが愛着と誇りを感じるまちづくりに活かしていきたい。

南海トラフ地震に備え今すべきこと

質問

弥富市では現在、愛知県や国が堤防が破堤しないとの想定にもかかわらず、市民の安全・安心の暮らしを守るために津波や高潮に対して避難タワーを建設し、市民の命を守る事業が進められている。また、小学校に外階段と屋上にフェンスを設けて、一時的な避難場所とする提案から2年が経過したが、弥富市は本年度実施するが、津島市はどうか。

教育委員会事務局長

最新の予測調査で、津島市の津波浸水被害はわずかで、学校施設への外階段の重要性は、以前より低くなった。

QUESTION

天王通りの活性化について

質問

この地域の特徴として造り酒屋が多いので、尾張地方の酒が一堂に飲める店舗も、まちづくりにも有効では。

建設部長

地域の特産品としての販売や飲食できる店舗が出店されることは、地域経済の活性化やまちのにぎわいにつながると思う。

質問

市内の県道名古屋津島線の整備状況はどうなっているか。

建設部長

市内の計画延長は、7430mで、そのうち約36%の2680mが完成している。

質問

天王通りは、津島駅と津島神社がつながる主要な道路であり活性化するためには、地域住民、NPO法人や行政などが一緒に議論できるプロジェクトチームを立ち上げるべきでは。

建設部長

今後とも地域住民を初め、NPO法人などと協働して議論していきたい。

婚活・縁結び支援について

質問

市の20代から50代までの未婚者数は。他市では民間の結婚相談所と提携して入会金を補助しているが。

市長公室長

20代では4629人で76.8%、30代では2871人で31.2%、40代では1483人で16.5%、50代では687人で9.1%。現時点では民間結婚相談所への補助金は考えていない。

質問

市の婚活支援はどんなものがあるか。

市長公室長

市社会福祉協議会が結婚相談所を開設し、商工会議所が縁結び交流会を行っている。

質問

商工会議所に開催の回数を増やすように働きかけてはどうか。市として婚活・縁結び支援をどのように行っていくか。

市長公室長

商工会議所の自主性を尊重したい。市が直接的な支援をすることは考えていない。他の団体が実施する婚活事業に対する後援・周知・協力等を継続していきたい。

人口減少時代の施策

質問

市における人口減の実態と課題、総計画の見直し、政策転換の可能性は。人口減少先進市のモデルを創るには。

市長

あらゆる世代が健康で、地域で支え合いながら暮らせる市民協力のまちづくり、集約すると市民と力を合わせて総合力で臨むまちづくりと考える。

鈴木副市長

人口減少時代の施策では、少子・高齢化問題が、今の制度のままではやっていけないかが、一番大きな問題である。

市長公室長

平成24年中の市の人口は603人の減少。総計画はこれを考慮しているが中間年度となる平成27年度には検証し、人口減少時代に、より対応したい。

質問

高齢者福祉施策として、地域包括ケアの充実策を考えるべきではないか。

健康福祉部長

地域包括ケアでは、在宅医療、介護の整備のみでなく、地域での支援体制の拡充に努めていく。

非行・不登校問題に関する件

質問

市における非行・不登校の現状と推移、内容と考え方を問う。学校現場の指導体制、教育委員会の取り組みは。

教育長

市内の不登校数は平成24年度・小中学校で計88人、前年比で18人増加している。不安等の情緒的混乱、神経症的不登校が多く、無気力や怠惰、非行遊び型といった理由。非行については、学校生活に適応できなくなり、忍耐や自制、それを乗り越える経験や力が不足していると考えます。まず、学校が楽しくなるよう、友達同士、先生と子どもたちが温かい人間関係を作ること、将来に対する夢や設計を持つことに、学校の先生方をはじめ家族や社会が手本を示し、支援していくことが必要。

教育委員会事務局長

不登校については、一人一人が存在感・充実感を持って学校生活を送れるよう配慮し、早期発見・早期対応を心がけ、家庭への働きかけを重視し、全職員で問題解決に当たる。非行については校内の生徒指導体制の充実を図り、スクールカウンセラーによる相談を行っている。本年度から、不登校対策の取り組みとして、よりきめ細かい指導が実現できるよう、2か所目の適応指導教室を開設した。



一般質問

日本共産党議員団 **伊藤 恵子**

地域で認知症高齢者の見守りを

質問

昨年の介護保険法改定で、生活援助時間が短縮されたが、影響はどうか。

市の独自施策でもサービスを受けられるような工夫が必要ではないか。

また商店や高校生など、サポーターの範囲を広げ、地域で認知症高齢者を見守る「ネットワーク」の体制を整えてはどうか。

健康福祉部長

利用者からは「ヘルパーとの時間がとれない」「援助内容が希薄になっている」「ヘルパーからも「利用者からの苦情など精神的・肉体的負担が大きくなっている」、事業所としても「収入的な落ち込みがあり、人材確保に苦慮している」などの意見が出されている。独自施策は考えていない。見守りネットワークは、「コミュニティや社会福祉協議会等とも連携して進めていきたい」。

在宅支援体制を整えることが急務

質問

在宅介護者の3人に1人はうつ状態との調査もあり、家族のケア、状況を把握しながら訪問診療を進めるべきではないか。

健康福祉部長

昨年7月の訪問診療アンケート調査では1か月320人の利用があり、市内16医療機関で実施している。需要に応えられるよう、訪問看護ステーションの人員を増加し、訪問看護の体制整備に取り組んでいく。

問題多い「マイナンバー法」

質問

すべての国民に番号を割り振り、情報を一元的に管理するマイナンバー法が成立し、2016年1月から利用開始となるが、「個人情報漏えい、成りすまし犯罪の誘発」「巨大な「IT箱物」利権」「費用対効果が不明」「国民の80%以上が知らない」「なぜいま国家が統治するのか」など、多くの問題が指摘されているが、市の対応は。

市長公室長

国は、システムの安全管理と制度上の保護措置を講じることにより高度な個人情報保護を図る必要があるとしている。予算は平成25年中に政府内で検討を進めるとのことである。これから体制整備が加速化していくと思うので、入手した情報を適切に市民に周知していく。社会保障と税の一体改革の一環として進められており、行政過誤や無駄のない、国民にとって利便性の高い社会などを実現するために有益な事業であると考えている。

日本共産党議員団

杉山 良介

市庁舎別棟建設工事の内容は

質問

現在ある市庁舎の耐震工事は、液状化対策は行わず、新たな防災対策の中心となる別棟を約10億円かけて建設するとされていたが、工事の内容と予算はどのように考えているのか。

総務部長

「地域防災計画見直し検討会」の意見、検討を踏まえ判断することとしている別棟建設については、鉄筋コンクリート3階建て、延べ床面積は約1600㎡で、液状化対策を施し、震度6強に耐えるよう設計されている。予算規模は約7億円を想定している。

「生活保護」申請時の対応は

質問

申請の際、資産や収入を示す書類の提出が義務づけられると、その不備を理由にして申請を受け付けない事態が増えるのではないか。現在は口頭での申請も可能。今後の対応は。

健康福祉部長

今回の改正案については、必要な人には確実に保護を実施する制度の基本的な考え方を維持しつつ、所要の措置を講ずるものと聞いている。申請時に提出できない事情がある場合は、口頭

での申請も認めるものである。

市職員の給与に関する件

質問

国からは、地方自治体への要請として、平均7・8%の給与削減が出されている。今、市にとって必要なことは、給与の削減ではなく、適正な職員の配置と労働条件の向上をめざすことではないか。

市長公室長

職員の給与は人事院勧告に基づいた適正な給与水準の維持が基本であると考えている。また休暇取得によるリフレッシュ効果で仕事の効率を図るうえで職場環境の整備も必要である。

就学援助、修学旅行実費支給を

質問

支給項目の中で修学旅行費、給食費が、実際にかかった費用より少ない支給額であり、早急に改善すべきである。これを実施したら、予算額はどうか。

教育委員会事務局長

実費支給した場合、平成24年度の実績で算出すると、小学校・中学校合わせて修学旅行費は、対象人数169人で約256万円の増額、給食費は、対象人数721人で約981万円の増額となる。他の福祉施策とのバランスを考慮した支給額を考えたい。

QUESTION

改革クラブ 加藤 則之

人口減少時代のまちづくりは

質問

市政方針にもある『身の丈に合ったまちづくり』の必要性は、まさに、人口減少・経済活動の縮小の先を見越したまちづくりに他ならないが、今後の行政運営をどの様に考えているか。

市長

あらゆる世代が健康に暮らせる・住み慣れた地域で支え合いながら暮らせる・市民協働のまちづくり。一言で言うとうと、市民と力を合わせて、総合力で臨むまちづくりだと考えている。

質問

地域コミュニティの確立や協働のまちづくり推進で、行政は、まちづくりの将来目標やビジョン、方向性を市民や団体に示して行く事が一番大切な役割にならなければならないか。

市長

指摘の通り、制度変更の働きかけは大変重要で、目指すべき理想を掲げることは、計画を策定していく上で非常に大切だと思っている。制度設計をして行く中で不都合や、今の時代に合っていないかどうかをよく見据え、いろいろな形で調整をしていきたい。

これからの子育て支援策は

質問

社会全体で、地域の多くの支えによって子育てが出来る環境が重要ではないか。市民憲章や自治基本条例と同様に『津島子育て条例』を制定し、子育て支援を宣言するまちとして、市民の合意と協力を得てはどうか。

健康福祉部長

子どもの健やかな育ちを社会全体で支援することは非常に重要。より有効的な条例とするためには、行政が単独で条例を制定するのではなく、関係者と協働して創り上げていくことが必要と考えており、今後、子育て支援策を話し合う会議の中で進めていきたいと考えている。

質問

津島市独自の特色ある施策として、『子育てパウチャー(クーポン券)事業』も社会全体で子育てをして行く事にならなければならないと思うがどうか。

健康福祉部長

一定規模のサービス提供者や財源の確保など、解決すべき課題があり対応は難しい。まずは、現在実施の『はぐみんカード』事業の協賛事業所をふやし、利用促進につなげるよう、事業内容のPRに努めていきたい。

小山 高史

病児・病後児保育と子育て支援センター

質問

来年度から民間移譲される神島田保育園で実施予定の病児・病後児保育の対象は、市内在住の保育園児のみだが、その他の子どもの受入れは、ファミリーサポート・センターになるのか。

健康福祉部長

病後児の受け皿はファミサポになるが、病児を受け入れる体制はできていない。病児・病後児保育においても保育園児だけでなく、市内の幼稚園児や小学生についても移譲先の法人や医療機関と調整をしながら受入れができるように進めていきたいと考えている。

質問

4月からスタートした、市内2か所目となる生涯学習センター内の東地区子育て支援センターの土曜日オープンは可能か。また総合保健福祉センター内の西地区子育て支援センターは、今年度の早い段階で現在の2階から1階へ移動してオープンするとしたが、現状は。

健康福祉部長

利用者のニーズに応えられるように、土曜日オープンの検討を進めていく。西地区子育て支援センターの移動は、

6月中に設計の入札を行う。開設時期は来年度前半になると見込んでいる。

男女共同参画プランの適切な遂行を

質問

市は、男女共同参画プランの中で、男性対象の料理、家事に関する講座を開催しているが、家事に関する講座は開催していない。プランが適切に遂行されていないが。

生活産業部長

女性の社会進出に伴い、男性の積極的な家事や育児への参加が必要であると考えている。現在は男性を対象に料理講座を行っているが、今後は様々な家事をテーマに講座を実施していく。

子ども医療費の無料化拡大実現を

質問

県は、来年度から予定をしていた、子ども医療費の無料化への、患者の受診に対する負担金加算を見送った。県の動きを危惧していた市長にとっては、無料化のタイミングを見失っていたと思うので、是非この機会に無料化拡大を行ってほしいが、見解は。

市長

県と一緒にやっていくことは大きいですが、一番大事なことは健康で過ごしてもらおう。これに精魂込めていきたい。



一般質問

市民クラブ 宇藤 久子

藤まつり・野外ステージに関する件

質問

出演者の方々に、もう少しきちんとした仮設の着がえ室や控室の設置を考へてもらえないか。

生活産業部長

主催者は津島市観光協会を中心とした藤まつり実行委員会となつている。藤まつり期間中の野外ステージのすぐ裏に設けてある場所は、一時待機の場所となつている。そのため、出演者の着がえは、中央公民館の控室で行つていただいている。



質問

天王川公園の野外ステージに常設の屋根を設置する考へはないか。

建設部長

常設の屋根については、自然的景観を損なうため、公園施設として設置する計画はない。

生涯学習センターに関する件

質問

屋外運動施設、屋内施設及び適応指導教室の利用状況についてはどうか。

教育委員会事務局長

テニスコートの平成25年4月の利用者数は919人、東側のグラウンドの平成25年4月の利用者数は2012人、屋内施設の平成25年4月の利用者は3473人。また、生涯学習センター内の適応指導教室を利用している生徒は4人である。相談や施設見学を含めた訪問者は21人である。

質問

貸し出し可能なテーブルクロスはあるのか。また、傘立ては、センターで用意する予定はあるのか。ネーミングライツの件はどうなっているか。

教育委員会事務局長

テーブルクロスは、常備していない。傘立ては無いが、傘を入れるビニール袋を玄関に設置している。ネーミングライツは今年度調査を進める。



青風会 大鹿 一八

当市の火災の現状と防火対策について

質問

消火栓の設置計画はどうなっているのか。

消防長

消火栓等の消防用水利の充足率は現在約80%、ほぼ全市を網羅している。今後の設置については、住宅等の増加をみながら検討していく。

質問

市内の火災状況と、通報があつてから現地到着時間はどのくらいか。

消防長

平成24年度中の火災件数は23件で、実際に消火活動をしたのは13件。通報を受けてから放水を始めた時間は平均12分。



県道名古屋津島線バイパス計画は

質問

七宝から西尾張中央道まで5年後には開通するとの話も聞くが、どうか。

建設部長

あま市内の七宝工区が平成24年から事業に着手し、10年後を目標に事業が進められている。その先の西尾張中央道や神守中学校付近については、現在の段階では見通しは立っていない。

副市長一人制について

質問

人口7万人もない都市に副市長が2名も必要か、給料も下げたらどうかとの市民の手紙に対する考へは。

市長

2人の副市長に大変活躍をいただいで、大きな成果を上げていると思つている。内外からも大変高い評価をいただいていると感じている。

市長公室長

副市長の報酬は、特別職報酬等審議会で審議の上、決定されている。

市民からの投書について

質問

市役所から来た郵便物の封筒の広告に驚いたとの市民の声があるが。

総務部長

封筒広告であることがわかりにくいという指摘と思うので、今後は封筒広告である旨の表示と、広告の大きさ・位置等を考慮したい。

QUESTION

新生クラブ 垣見 信夫

斎場事業の進捗状況について

質問

新しい斎場事業は来年4月1日の業務再開を目指し、2億6000万円以上の税金を投じて整備しようとしている。現状は、以前施設をつくった会社と原告の当市が係争中。裁判所から現況保全命令などの指示があった場合、計画どおりの工事は進捗するか。

鈴木副市長

裁判でこの装置が重要な証拠物件であることは認識している。工事を実施するには、早期にこの装置を解体する必要がある。裁判所と被告代理人へ、7月から解体工事を始めるので装置の状況を確認する必要があるなら6月中旬に実施するよう申し入れた。来年4月から業務再開できるように全力を尽す。

質問

市の顧問弁護士が逮捕された。裁判への影響と弁護士の変替はあるのか。

生活産業部長

城綜合法律事務所の5名が原告訴訟代理人であり、そのうち1名が実際にこの事件の担当である。訴訟の場は事実に基づく検証の場であるので、悪影響を及ぼすおそれはないものと考え、訴訟の内容や資料の説明、現場の確認、事務的負担が少なからず発生する。全

てを把握している現在の担当弁護士に引き続きお願いすることが最善と考え、委任契約をした。

質問

火葬炉が3炉から2炉に変更されるが、火葬業務に対応できるのか。

生活産業部長

23年度の1日当たり火葬件数は平均1.97件で、1日4件未満が全体の約95%、1日当たり1炉で3件が可能で、最大6件となるため、2炉で対応できると考えている。

今夏、生活用水は確保できるか

質問

岐阜県下呂市にある岩屋ダムと市内6本の井戸水で生活用水を賄っている。梅雨入りはしたものの、ダム周辺では雨が降っていない。井戸の保全状態とダムの貯水量はいかがか。

上下水道部長

ダム流域の降雨量は4月まで平年並みを推移してきたが、5月は平年の50%程で貯水率は平年値より低い。貯水率が50%を下回ると節水実施に入り40%を下回ると井戸水からの揚水で調整する。30%を下回ると学校等のプール規制、各戸への節水協力を周知する活動になる。井戸水の水質検査は、検査機関に依頼し、保全監視している。

主な議会報告

5月	2日 議会運営委員会	6月	3日~24日 第2回定例会	7月	2・3日 文教建設委員会行政調査視察
	9・10日 第1回臨時会		3日 本会議		5日 議会だより編集委員会
	20日 文教建設委員会		10・11日 一般質問		12日 議会だより編集委員会
	21日 厚生病院委員会 総務協働委員会		13日 厚生病院委員会		22日 議会だより編集委員会
	27日 議会運営委員会		14日 文教建設委員会		25・26日 厚生病院委員会行政調査視察
			17日 総務協働委員会		29・30日 総務協働委員会行政調査視察
			21日 議会だより編集委員会		
			24日 本会議		

平成25年第3回定例会は9月2日(月)～9月26日(木)までの開催予定です。議会の傍聴にぜひお出かけください。

- ★本会議は午前9時から開会します。
- ★日程は、変更になる場合があります。
- ★詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

☆9月 2日(月)	本会議
☆9月 9日(月)	一般質問
☆9月10日(火)	一般質問
9月11日(水)	厚生病院委員会
9月12日(木)	文教建設委員会
9月13日(金)	総務協働委員会
☆9月26日(木)	本会議

☆のついた日は、クローバーTVの中継を予定しています。

津島市議会から



議会報告会



開催のお知らせです。

津島市議会では、市民の皆様にかかれた議会を目指し、議会の活動状況を報告し、市民の皆様と自由に情報及び意見を交換する第3回目の「議会報告会」を開催します。

ご都合の良い会場へ、ぜひお出かけください。

開催日時		会場	担当班
8月3日 (土)	午前10時 ～12時	図書館 ☎ 25-2145	A班
	午前10時 ～12時	児童科学館 ☎ 24-8743	B班
	午後2時 ～4時	生涯学習センター (旧アイプラザ津島) ☎ 24-1187	A班
8月4日 (日)	午後2時 ～4時	文化会館 ☎ 24-1122	B班

お願い：飲み物は用意しておりませんので、各自でご持参ください。

※ 担当班は、次の議員で構成します。

A班

杉山良介 宇藤久子
垣見信夫 日比一昭
大鹿一八 加藤則之
本田雅英 山田真功
長尾日出男

B班

後藤敏夫 西山良夫
東国伸 上野聡司
津田秀幸 加藤哲也
日比野郁郎 森口達也
伊藤恵子 小山高史

お問い合わせは、津島市議会事務局（代表24-1111）へ

編集後記

「議会だより」も今回の発行が第16号となり、創刊号発行から早いもので、満4年が経過しました。その間、議会で何が議論されたか、また各議員の活動状況を「議会だより」を通じて市民の皆様にお知らせしてまいりました。また、議会報告会を開催し、市民の皆様と直接お話をさせていただき、いろいろな質問や要望をいただきました。やれることから順番に取り組んでまいりましたが、まだまだ市民の皆様のご希望に添えていないことも多々あったかと思えます。今回、編集委員が入れ替わり、新たな気持ちで「議会だより」の発行に取り組んでいきます。今後も、議員全員が一致協力し、市民の皆様から、透明度の高い開かれた議会と評価していただけるよう頑張っていきますので、今まで以上にご理解とご支援をいただきますようしくお願いたします。

議会だより編集委員会

◎長尾日出男 ◎小山高史
杉山良介 ◎東国伸
垣見信夫 大鹿一八
本田雅英 加藤則之
◎委員長 ◎副委員長

議会だよりは、津島市議会の責任において発行しています。

次号は、11月に発行予定